



ASTON MARTIN  
RACING

## 第 73 回ル・マン 24 時間耐久レースで、 アストンマーティンレーシングが GT1 クラスの表彰台に

2005 年 6 月 19 日 ル・マン: 世界最高峰のレースのうちの一つ、ル・マン 24 時間耐久レースに、アストンマーティンレーシングは、GT1 クラス 3 位という結果でドラマティックな復帰を飾りました。

カーナンバー59 番を駆るステファン・サラザンが母国の観衆を前に、午後 4 時にチェッカーフラッグを受けました。ステファンは、チームメイトのデービッド・ブラバム、ダレン・ターナーと共に、高温のラ・サルテサーキットで 333 ラップを走破しました。

残り 90 分を切ったところで、車はラジエーターに問題を抱えました。しかし、これを修復し、最終周回到ステファンをコースへと送り出し、GT1 クラス 3 位、総合で 9 位という成績でレースを終えました。

一方のトーマス・エンゲ、ピーター・コックス、ペドロ・ラミーが駆るカーナンバー58 は、序盤は GT1 クラスをリードしていましたが、スプリッターの損傷により順位を 4 位まで落とし、残り 90 分のところで燃料系に問題を抱え、レースを終えました。

チームディレクターのデービッド・リチャーズは、「これがモータースポーツだ。やれるだけのことはやった。しかし今回はそれが報われなかった」

「我々にはもう少しテストとレースでの実戦経験が必要だ。そして我々は戻ってくる。カーナンバー59 が見事完走できたのは、今週末を通して皆様からの多大なサポートをいただいたからだ」

「ステファンが彼のホームサーキットで見事フィニッシュできたことは素晴らしい」と語りました。

アストンマーティンのチェアマン & チーフエグゼクティブは「我々は情熱を燃やし、ここへやってきたが、いまはまだ開発の段階である。我々は学ぶためにここへやってきたのだ。しかし、見事最後まで走りきり、我々のクラスの表彰台を獲得した。また我々は返ってくる。」と語りました。

GT1 クラスの優勝は、シボレー・コルベットのカーナンバー64、2位はカーナンバー63でした。

この結果は、アストンマーティンが2005年3月に国際スポーツカーレーシング界に復帰して、達成した過去2回の勝利に加えられることになります。

-Ends-

